



来年度に向けて～検討の視点と方向性～

校長 丸岡 哲也

2月の時候の言葉に「春寒の候」があります。時候の言葉は旧暦に基づいて、「春寒」とは立春後に残る寒さのことです。北海道においては、立春から2月中旬までは、寒さが残るところか寒さが最も厳しく、しっくりきません。しかし、今冬の2月は、プラス気温の日が多く、10度を越える日もあり、一気に雪解けが進みました。学校からの手紙も「向春の候」が使われ、「春」という言葉が近くにあるような気になります。

さて、12月に保護者の皆様に学校評価の保護者アンケートにご協力いただきました。誠にありがとうございます。教職員の自己評価、保護者アンケート、児童アンケートの結果を総合的に捉え、分析・検討をし、今年度の教育活動を検証しました。そして、今年度の成果と課題を踏まえ、来年度に向けた方針案を作成し、来年度の方向性を確認しています。目指す子どもの姿を、まずは教職員が共有し、来年度の学校経営に向けた準備を進めています。

併せて、次の視点で学校行事等の在り方も検討しています。

- ① 夏の猛暑、酷暑を踏まえること
- ② 通知表を年に2回発行していること
- ③ コロナ禍での実施方法を検証すること

①から遠足の時期を変更します。天気については現時点では予測は付かないものの、8月下旬の実施は見直さなければなりません。9月下旬～10月上旬で調整しています。それに伴って、学芸会の開催日も10月下旬に変更したいと考えています。

②については、従来学期末7・12・3月の3回通知表を発行していましたが、現在は9・3月の前後期2回発行しています。このことで、学校としては7・12月の通知表作成業務がないことで、新たな取組を行うことが可能になっています。通知表発行の回数は減りましたが、7・12月に個人懇談を行い、学習や生活の様子や今後の指導の方向性を直接話すことができます。また、従来あった4月の家庭訪問は、今年度は個人懇談として実施しました。家庭訪問や個人懇談は学校と家庭との連携として重要な機会ですが、4月の実施の有用性や、実施の時期や回数を検討しています。

③のことも踏まえて、参観日の在り方も検討しています。従来は、「参観日＝授業参観＋学級懇談」という捉えでした。前述の個人懇談を設けていることから、その時期の参観日を、授業参観と学級懇談を切り離した実施について検討しています。さらに、授業参観をある1時間に固定しなくても、日数や時間帯をやや広げてみると、保護者の都合のいい時間に参観することが可能になると考えています。コロナ禍において、いろいろな学校で工夫された実施方法がありますので、4回ある参観日を一律同じ実施方法とするのではなく、多様な方法で実施することを検討しています。

運動会、学芸会などの学校行事、授業参観や学級・個人懇談などを通して、保護者が来校し、子どもの様子を見て、学校と家庭が語り合う機会を、一年間を俯瞰して位置付けていこうと考えています。令和6年度の学校行事等の日程については、改めてお知らせいたします。

令和5年度も残すところひと月です。できることをしっかりやり切って1年を締めくくりたいと思います。保護者皆様のお力添えを引き続きよろしくお願い申し上げます。

【教育目標】

『勇気ある子ども』（全体目標）

- 「自分で考える子」（知）
- 「思いやりのある子」（徳）
- 「たくましい子」（体）

◆ 今年度の重点

テーマ **思いをカタチに**
育てる子どもの姿 **自信をもって伝える子**

◇ 3月生活目標 **だれとでも仲良く協力しよう。**

ようこそ 古平小学校へ

～一日体験入学～

1月25日（木）、4月に入学する令和6年度新入学児童の一日体験入学を行いました。来年度の入学予定児童数は20名です。

保護者の方が説明会に参加している間、新入学児童のみなさんは、校舎内の各教室を見学した後、1年生と一緒に活動を行いました。



今年度は、給食試食会も行いました。子どもたちは、スパゲティのおかわりをするなど、とても楽しみにしてくれていたようです。



4月から始まる小学校生活。古平小学校のみんなは、一緒に活動できることを楽しみに待っています。

スキー学習

本年度は、美国スキー場とキロロスキー場で学習を行いました。



1、2年生は、校舎周辺で学習しました。歩いたり、坂を登ったり滑ったりと、スキー板を扱う練習をしました。

美国スキー場では、ロープトウ（リフトの代わり）も上手に乗り、滑りやすいコースでたくさん練習することができました。



キロロでは、いろいろなコースで長い距離を滑り、雪面に合わせたターンを学習しました。

地域の特色である「雪」を生かしたウィンタースポーツ。今シーズンも、もう少し楽しめそうです。機会があれば、ご家庭でも滑る様子を見ていただければと思います。

漢字検定

2月9日（金）、日本漢字能力検定協会「漢字検定（漢検）」が、古平小学校を会場として行われました。

今年は10級（1年生相当）から5級（6年生相当）までに37名が挑戦しました。

漢検を通して、漢字の読み書きや筆順、四字熟語など、漢字への興味関心を高めていくことができました。